

蔵増北青壮年会だより
発行 第47号
平成19年7月20日

そらねん



発行人会長 秋保 栄
編集委員長 後藤 賢次
編集 機関紙編集委員会

↑北

じいちゃん、ばあちゃんの流した汗で いまがある



蔵増の昔を 語る集い

《三世代交流事業 H19.2.18》

いつ頃の写真が 思いをめぐらせてみよう

詳細記事は4ページ





不法投棄は許さない。(H19.4.8 高木川、高速道路の側道沿い)

実り多き成果 18年度を振り返って 北青壮年会総会

二月二十五日(日)、平成十八年度総会が開催された。報告の中では、「会員アンケート調査に取り組み、その中で、最も大切な事業は『盆踊り大会の運営』』という回答が70%近くあった。これは、地域に根付いた行事を守っていきたくという意思の表れと受け止めている。また、これまでの部活動中心の事業展開から、部活に入っていないなくても気軽に参加できる行事が求められている。」などの説明があった。

昨年の盆踊り

大会でも、賑わいを出す取り組みを行い、以前より来場者数が増加していることや、「そうねんだより」が会員の協力で満20歳になったこと、「三世代交流事業」で老人クラブの皆さんから昔の蔵増について色々お話いただいたこと。などの報告があった。本年度も皆様の御協力よろしくお願ひします。

(後藤賢次記)

よろしくお願ひします

新副会長 土屋博明 (3区)

今年度から青壮年会副会長を務めることになりました。青壮年会に入会してもう14年、少しでも役に立てればと思っております。



現在会員数は61名ですが、会員の中には素晴らしい特技を持った方がたくさんいるように思います。その特技を活かして、更に交流の輪を広げられれば楽しいことだと思います。

「年間一事業参加」を目標に会員みんなの理解と協力をお願いいたします。

◆◆◆ Profile ◆◆◆

- *S31.7生まれ(51歳) 東町に生まれ、育つ
- *家族は妻と子(1人県外に就職)、両親の7人
- *職業は、自衛官(あと3年で定年)
- (S62年~H4年、5年間北海道に勤務)
- *趣味は日曜大工です。



元気のある地域づくりにみんなで参加を。(19年度役員)

新役員紹介

- | | |
|------|-----------------|
| 会長 | 秋保 栄(北二) |
| 副会長 | 後藤 賢次(北二) |
| 理事 | 山崎 進(北二) |
| | 土屋 博明(北二) |
| | 佐藤 春彦(北二) |
| | 土屋 仁(北二) |
| | 菊地 義盛(北二) |
| | 那須 泰志(北二) |
| | 佐藤 俊彦(北二) |
| | 佐藤 利光(北二) |
| | 土屋 忠治(北二) |
| | 山崎 稔(北二) |
| | 土屋 公男(北二) |
| 監事 | 森谷 忠男(北二) |
| | 東海林 由人(北二) |
| | ソフト部長 鈴木光芳(北二) |
| | 将棋部長 土屋政美(北二) |
| | 麻雀部長 熊澤常也(北二) |
| | 書道部長 佐藤俊彦(北二) |
| | 写真部長 大木富雄(北二) |
| | 野山孝之(北二) |
| | 今田仁志(北二) |
| | 編集委員長 後藤賢次(北二) |
| | 森山美典(北二) |
| | 今田仁志(北二) |
| | 東海林隆(北二) |
| 上部機関 | 市連合副会長 奥山正男(北二) |

フレッシュマン

新会員にインタビューしました



第一の人生
森山輝明さん(二区)

輝明さんは、現在45才。東京の専門学校を卒業し、昭和59年に仙台の(株)東北共立に入社し、61年より天童市市民文化会館に派遣されて舞台スタッフとして活躍されています。お父さんがお亡くなりにな

なったことから蔵増に戻ることを決意。去年12月、堀端に新居が完成し、駅西から久しぶりに戻ってきました。小さい頃から育った環境には、やはりホッとするところがあるそうです。家族は母親と妻、高校2年の長女、中学2年の長男の5人で暮らしています。

趣味は多趣味と自称し、特にギターが得意だったため、若い頃から市文化団体加盟の軽音楽主体の「若葉の音楽会」に加入し活動されました。現在は、事務局長として毎年12月、クリスマス近くに行われるレインボーコンサート(の総合同会)を担当しているそうです。皆さんに、「たまには軽音楽のコンサートを聞きたいが、来てほしい」とのお誘いがありました。

土・日は仕事の関係で日中の参加は大変ですが、皆さんと一緒に北区のため働きたいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと話しております。(聞き手 後藤賢次)

新部長で～す

麻雀で脳の活性化を



麻雀部長 熊澤常也

この度、麻雀部長を務めさせていただくことになりました熊澤です。麻雀部は、毎月第三土曜日の夜八時より月例会を開いております。部員は、現在13名で、アルコールもチョップリ飲みながら和気あいあいとやっております。

近年元気の無かった麻雀部が気がかりでしたが、皆様の力をお借りして、元気のある楽しい麻雀部にしたいと思えます。それには、月例会の充実、北区新春麻雀大会の盛況、地区の麻雀人口の増加が重点課題となります。月例会は、部員同士お互い誘い合って出席率を高め、楽しい例会にしたいと思えます。地区の新春大会は、一般の方にも多数

参加していただき、初の女性参加で賑わった今年以上に盛り上げたいものです。麻雀を全く知らない人にはBクラス教室を開き、初歩から優しく指導したいと思っております。

麻雀の楽しさは、幾通りもある選択肢から自分で道を選び「えいっ」と決断し、それが上がりにつながった時の喜びは最高です。決断と実行、皆さん、麻雀で脳を活性化させましょう。

毛筆に思いを込めて

書道部長 佐藤俊彦

最近特に思うのですが、年齢を重ねるにつれ、筆を持つ機会が多くなりました。それは一家の柱となり、熨斗(のし)袋、熨斗紙などに書く機会が増えてきたからです。この時ばかりは、



書道部の合言葉「継続は力なり」のとおり、書道が続けてきてよかったとつくづく思う場面であります。(まだまだ未熟ですが...) 指導は中区の岩月啓次郎先生で、第四火曜日(一人ひとりに、筆の運び方や筆順まで優しく丁寧に教えていただいております。)

部活動の内容としては、部員10名、毎月第一、第四火曜日の二回、夜八時から十時まで練習を行っております。楷書、行書、草書、仮名、条幅、実用書など幅広く練習しております。

作品発表の場としては地区文化祭や北区の総会時に出席し、また、何よりも親睦を深めるため懇親会を頻繁に行っております。今、パソコンなどで色々な書体で印字できますが、毛筆で書いた文字には、書いた人の思いが込められています。自分の字で、思いを表したい方は、気軽に練習に参加してみませんか。部員一同もろ手を上げて歓迎いたします。

みんな仲間・一人一参加

古里の昔日を思い浮かべて 初めての「三世代交流事業」

平成19年
2月18日
北公民館

た。水はとて
も貴重だった。
▽三条の宝塔
いまは誓願寺
に建立。

▽堀端の葦(よし) 消防
団が堀の葦を土壁の材料と
して左官屋さんへ入札して
売った。

▽洪水 堀端から西小路へ
舟で渡ったこともある。

▽北公民館の建築年は、昭
和13年。斎藤畳店のおばあ
ちゃんが嫁に来た年と伝わ
る。資金は最上川に北部落
と南部落の共有地があり、
その萱(かや)を年貢を取
り取って刈らせ、積立てして
北と南が均等に分配。南は
豪華な棺箱を購入。一回ぐ
らい使ったという。北は現
在の公民館を建てた。5千
円ぐらいだったという。棟
梁は腕利きの佐藤治郎大工
さんだった。(土屋節子さ
ん宅の西向かい側に佐藤家
があった。)

▽前田川沿いに道路 南の
稲荷神社の真北方向、川の
西側に道路があった。現在
の金平さんの前に道路はな
かった。

▽学田(かくでん)
三郷堰の中に村有
地の田んぼがあっ
た。土地改良で整
理された。

▽電話 蔵増○番
と呼び、渡辺麵工、
佐藤麩屋、土屋光
春さん宅にあり、
借してもらった。

▽学童疎開 アカ
ザの葉、ヒヨウ、
モチクサまで食べしのいだ。

表紙の写真から
わかること

▼村山橋は鉄橋である。
(鉄橋は昭和4年に落成)

◇ガス会社のようなものが
写っている。(ガス会社は
昭和17年に設立)

▼最上川の本堤防が築堤さ
れていない。(村山橋の上
流部は昭和22年度から28
年度にかけて築堤。下流倉
津川合流点までは昭和28
年度から34年度にかけて
築堤されている。)

▼蔵増中学校が写っていな
い。(昭和24年に落成)



「とんと昔を語る会」の皆さんは、一人暮らしの老人宅に
出前も行っているとの事。「奉仕の心」本当にご苦勞様です。

平成十七年二月に初めて
老人クラブと子ども会育成
会の世代交流事業が開催さ
れ、今年はそのに青壮年会
も加えていただき三世代交
流事業が行われた。
内容は、「昔話を聞く集
い」と、「蔵増の昔の様子や
暮らしを聞く集い」の二部
構成で進められた。

最初に老人クラブの山崎
秀太郎さんが挨拶に立ち、
「昨年は渡邊政先生から地
域の歴史の話を聞き、その
前は薫細工づくりをした。
昔は、自給自足の生活をし、
何も無い時代を暮らしてき
た。しかし、物は無いがど
こか豊かな感じがする時代で
あった。今日は、昔の暮ら
しや様子が少しでも伝わら
ば有難い。」と話した。

教訓込められた昔話

第一部の「昔話を聞く集 い」では、とんと昔を語る

会(代表・福田信子さん)
の5名の語り部が蔵増に伝
わる「お藤地蔵」「鼻欠け地
蔵」などを情感たつぷりに
お話し、民話にはユーモア
や道徳心を育む教えが込め
られており、子ども達にも
伝えていきたいものである。

昔の古里の様子や 暮らしぶりを訊ねる

第二部の「蔵増の昔の様 子や暮らしを聞く集い」で

は、表紙の写真などを見な
がら老人クラブの皆さんか
ら思いつくまま自由に、昔
を思い起こして語っていた
だいた。
主なものは次のとおり。
▽ちよけすず(谷地田)、
畑谷すず、という湧水池が
あって自噴水を田んぼのか
んがいが用水に利用していた。
▽田んぼの水かけ 上流の
人がかけ終わると夜中でも
次の人へ順番を連絡しあっ

※記事についての御意見等ございましたら編集委員までお願いします。

平成15年以来の回目



何度も何度も対戦し、常に勝利に立ちをはだかってきた北久野本2チームを撃破。久しぶりの快挙です。(H19.2.4戦い終えて)

市連合将棋大会 優勝

宿命のライバル 北久野本を撃破

二月四日、市連合青壮年会将棋大会が、今年は市民プラザ「パルテ」から会場を移し、木の香が漂う市立天童南部公民館で第32回大会が開催された。

過去三度の優勝を誇る我が蔵増北青壮年会将棋クラブは、最強のメンバーを選び、最長のメンバーを意気込み、万全な体制で大会へ乗り込む予定であったが、大将格メンバーが直前の急用により参加できなくなり、メンバー集めに四苦八苦する羽目に。

私も、仕事の都合で最初からの参加ができず、会場へ駆けつけたのは昼直前。もう終わっているのかな、と思いつつ会場へ。外はあいにくの雪模様なのに、会場内は緊張

の糸がピンと張られ、緊迫の中にも熱気ムンムン。初戦は強豪北久野本A

2勝1敗で突破したと聞き、ヨシ！と力を握る。これから決勝戦が始まる

のこと。さすが蔵増北青壮年会。やったあ。

決勝戦も北久野本B

何と他方から勝ち上がったきたのも宿命のライバル北久野本のB。ちよつと待つて、もしかすると私も対戦しなければ・・・。

部長としてはもちろん、選手としても初めての対局。時計の針が走り出し、ハラハラ、ドキドキ。無我夢中で何がなんだかわからないまま対局終了。(勝敗は？ご想像にお任せ)

四年ぶり四回目の優勝

結果これも見事2勝1敗で打ち破り優勝を手にした。蔵増北青壮年会の底力を発揮し、優勝へ大きく貢献をした熊澤常也さん、森山美典さん、鈴木光芳さん、大変御苦労様でした。来年もよろしくお願ひします。

(十屋政美記)

北区新春将棋大会 鈴木清雄さんが二連覇果たす

二月十一日、建国記念日、恒例の北区新春将棋大会が今年も盛大に開催された。参加者は、老人クラブから古豪(失礼: 大変お強いです)3名含めて総勢12名の参加であった。



ゲームはまず楽しむこと。二連覇の清雄さん

まず予選リーグ、2つのブロックに別れ総当りで対戦。先に2勝した方が決勝リーグに進出となる。残念ながら2勝できなかった方は、敢闘リーグで対戦する方式である。

VS 土屋強さん

二連覇を狙う鈴木清雄さんと有段者土屋強さんの対戦、力将棋で形勢互角のまま終盤までもつれ込み、僅差で鈴木清雄さんが優勝を手にした。

敢闘リーグ決勝戦は、老

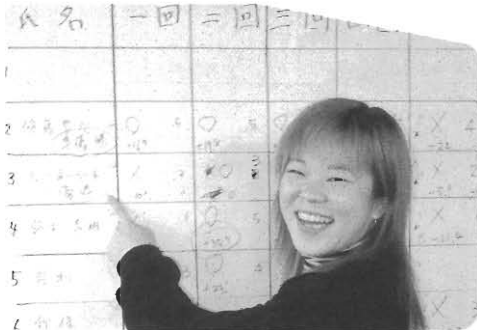
人クラブの代表格、実力者の渡辺秀治さんと熊澤常也さんの対戦となり、熊澤さんが踏ん張って寄り切った。大会後、皆さん久しぶりにヒートアップした頭脳を癒すため、アルコールを補充しつつ、どんがら汁をすすり十分すぎる反省会を行いました。是非、来年は皆さん御参加ください。

(十屋政美記)

女性初参加・初優勝

五十嵐弘美さん 圧巻の国士無双

最終戦 サヨナラ役満



これ私、優勝しちゃいました(弘美さん)

第七回北区新春麻雀大会が一月二十一日に北公民館で行なわれました。外は一月なのにぼかぼか天気。何と窓をオープンにできるほどの暖冬で、さわやかな空気が部屋に入り込む絶好の麻雀

日和でした。大会前の雰囲気がいともちヨット違う？そうです。今年初の女性参加者、北二区の五十嵐政利さんの長女弘美さんが参加してくれたのです。腕前は、ゲーム機でやる程度、なのだそうですが・・・参加者は13名。熱戦の火蓋が切って落とされ3回戦まで終わった時点で全勝は後藤賢次さんのみ。2勝の岩淵武男、鈴木清雄、齋藤勉、秋保栄、五十嵐弘美さんが迫りかける展開となりました。



熱い戦いは野球と同じ。九回裏からのドラマが・・・

最終戦、賢次、勉、弘美さんが一歩抜け出し、優勝はこの3人に絞られました。賢次、勉さんが最終局面でもリードし、賢次さんが逃げ切って初優勝と思いきや、弘美さんが、なんと土壇場で国士無双の役満でロン。会場は興奮の渦に包まれました。初の女性参加、そして役満を上がったの劇画のような逆転優勝。反省会では男子諸君、来年のリベンジを誓い、楽しい一日を過ごしました。(岩淵武男さん、どんがら汁)馳走さまでした。(能澤常也記)



オオツ、ナイス・スロー 光芳さん

前年度の地区青壮年会レクリエーション大会では、「タスポニー」という球技を行い、スローなボールスピードの割に、身体がついていかず、みなさん、アツブ、アツブだったことから、今年は手軽に楽しめる軽スポーツを企画してもらい、「デイスコン」というニュースポーツを行った。「いつでもどこでも、だれでもすぐできる。」何かどこかで聞いたようなキャッチフレーズだったが、何



下駄を履くまで分からない、それが勝負

と蔵増公民館の大集会室で、2試合同時に進行できるというコンパクトさである。試合は赤と青のデイスコンをそれぞれのチームが投げ合い、ポイントへの近さを競い合うもので、この日は1チーム3人編成で行った。スポーツというよりも、一発逆転、笑いと歓声が飛び交うゲームのようなもので、幼児からシルバード世代まで十分楽しめます。みなさんも機会があったらトライしてください。(後藤賢次記)

一発逆転に湧く デイスコンの行方に一喜一憂

地区青壮年会
レクリエーション大会
H19.1.28



今年は暖冬と思い気や、ある所にはあるんですね！

翁山 (1075m)
四月二十九日、参加者8名。天候晴れ。暖冬だったため雪など無いだろうと出かけたが、車が倒木のため先に進めず、3 Kmの歩きを

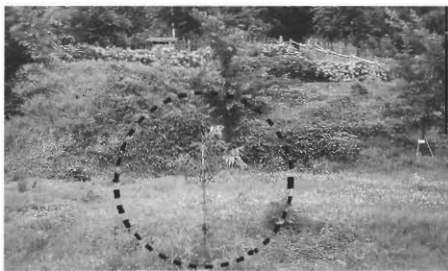
行く手を阻む雪 勇断の退却
尾花沢の翁山・沢渡黒伏山
◆◆ 野山会を歩こう会 ◆◆

いつかまた挑戦してみたい。
沢渡黒伏山 (1235m)
五月四日、参加者2名。天候晴れ。元来が修験の山であり、きつい上り下りである。道は踏み跡程度で、補助用の鎖と木にしがみついで登り、龍王洞の上で昼食を食べ引き返した。まだ春先のためか林道は荒れており、登山口までは車高のある4輪駆動車でないと行けなかった。今度は山頂に立ちたい。
(佐藤喜彦記)

余儀なくされる。林道の斜面は崩れ、次第に雪道となり、登山口の翁山小屋付近では1mの残雪があった。山頂を目指し、目印を頼りに登ること30分。急斜面となりスリップの危険も出てきたので白髭の泉で引き返した。真新しい翁山小屋で遅めの昼食をとり、下山後森のホテル御所山の温泉(薬湯)で疲れを癒した。

大きく育て大漁桜

《いつかは樹の下でお花見を》



平成16年秋、市連合青壮年会30周年記念事業で舞鶴山に蔵増北青壮年会の樹として、桜の植樹を行いました。残念ながら消滅してしまいました。会の歴史と共に育ててほしいという思いがあり、今年3月、新しい木を植えました。場所は舞鶴山の西側、イザベラバード、田山花袋の記念碑の西下に植えております。皆さんどうぞ温かく見守ってください。いつか大きくなったこの樹の下で、会員みんなで花見をしたいものです。(秋保 栄 記)

わたしの作品

《 東海林鳳竹(隆)さん揮毫 》



「春眠暁を覚えず、処処啼鳥を聞く。夜来風雨の声、花落るる」と知る多少」

私が書道を始めたきっかけは、熨斗袋が上手に書ければいいなという思いと、子ども達が結婚する時に、結納、案内状、席札などの字を書きたいなあという思いでありました。岩月竹陽先生から書道の手ほどきを受けて早十六年になる。早いものだ。よくここまで続けられたものだと自分でも感心する。振り返って見ると、色々思い出される。初めて筆を持った時の緊張感や、雅号を頂いた時の事。そして一番うれしかった事は、無鑑査に合格したことでした。これも

岩月先生の御指導のおかげと感謝しています。やはり「続けること」が一番大事な事とつくづく感じます。今やパソコンで行書などまで印字できる時代。「自らの手で書く」ことが薄れかけている中で、「墨の味」「書くこと」の良さを忘れずに、これからも色んな面で一生続けられるように頑張りたい。(東海林隆記)

☆第36回詰め将棋

将棋部があなたに挑戦
持ち駒 飛角金

7	6	5	4	3	2	1
	飛	角			金	
	歩	香		馬		

ヒント
持駒の大駒を捨てるのですが、ここに捨てればよいのか・・・五分で一級。七手詰。

この人



現在、利夫さんは、クリンピアの委託業務の仕事をしております。前は、八千代タクシーの運転手として二十年以上勤務しておりましたが、勤務時間の関係で家族とのコミュニケーションがなかなかとれなく転職したそうです。

子どもの頃は、どんな遊びをしたのかと聞くと「八幡神社の屋根に上って鳥の巣をとったり、地面に大きな円を書いて陣地取りしたり、釘刺し、パッパイ（めんこ）などしたなあ。」と言う。いまの四・五十代の人は、同じような遊びをしたに違いない私もそんな記憶が甦る。

これまで青壮年会では、監事や、副会長（会計担当）

地域の友人と 一生の付き合いを

の職に就き、しつかりと金庫番を務めていただきました。部活動では「野山を歩こう会」に所属。平成十五年発足の三沢山く面白山登山から参加しているが、長年タクシ―業で運動不足に陥っていたため、足腰が弱く辛い思いをしているそうです。徐々に身体を鍛えて、みんなと一緒に緑の山の空気をと、おにぎり、帰ってからのお風呂やピールのうまささに浸りたいと言う。

趣味はと聞くと「やっぱり晩酌だべ。」なるほど。奥さん、長女、次女、そして御両親の六人家族。昭和二十八年生れの四十四歳。下の子が高校生なのでまだまだががんばらねば」と笑顔で語ってくれました。

五十嵐利夫さん
北3区 昭和28年4月生まれ

(聞き手 土屋博明)

北区の人事

地域活動の先頭に立つ北公民館運営委員会の方々に御紹介いたします。(敬称略)

連合会長 蔵増 幸蔵
北一区長 後藤 祐悦
北二区長 鎌倉 弘
北三区長 渡辺勘二郎
連合会計 秋保 松弘
青壮年会長 秋保 栄
消防団部長 桜井 亮
老人会長 渡辺 秀治
婦人会長(一) 今田 敏子

近所のニュース

マコ結婚おめでとう

五十嵐政利さんの長男、大輔さんが5月13日、奈良沢の美和子さんと結婚しました。温かい家庭をお築きください。



当面の行事

- ◎8月4日(土) 北青壮年会ビアパーティー
- ◎8月5日(日) 北堀公園草刈・北区盆踊り大会
- ◎8月26日(日) 蔵増地区レクリエーション大会

あとがき

▽子どもが幼稚園を卒園し、四月からピカピカの一年生

☆第36回話め将棋回答

- ▲ 4七飛 △同桂成
- ▲ 3四角 △同 玉
- ▲ 2五金 △同 と
- ▲ 4四竜 まで七手詰め

「がんばれモンテディオ・ヤマガタ」 (大木 富雄)

▽健康な人でも毎日百万個ほどのガン細胞が生まれており、その細胞はリンパ球に退治されてガンにならずに済んでいるとの話を聞きました。強い免疫力を保つには、ストレスを解消すること、上手なうさ晴らしが必要だそうです。その一番のコツは、何と言っても「笑うこと」です。笑いの絶えない生活は自分だけでなく、周囲にも明るく健康をもたらします。皆さんが健康を保てるよう、笑顔の絶えない家庭、地域にしていきたいと思います。(鈴木 光芳)

表紙題字 書道部長 佐藤翠峰(俊彦)書